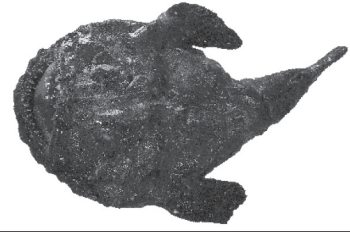


キアンコウ *Lophius litulon*

地方名：あんこう、あんこ、げろ（鱒ヶ沢町）



生態

- ①寿命：15年以上
- ②成熟：メス体長 50cm 以上
- ③産卵期：津軽海峡では6月～7月
- ④分布：北海道以南から朝鮮半島沿岸および東シナ海まで分布
- ⑤生態：主に水深 200m 以浅の大陸棚上に生息。水温の変化や産卵活動に伴い深淺移動を行う。水深 50m～80m の海底から容易に水面付近まで浮上することが可能である。

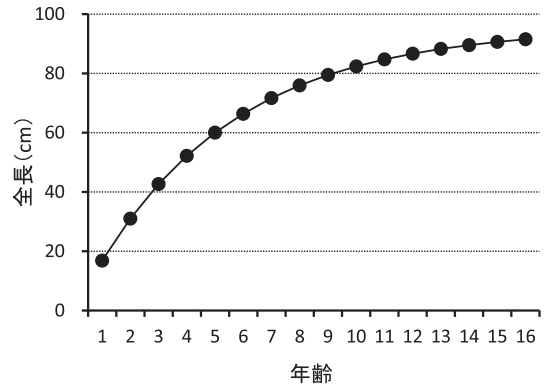


図 青森県におけるキアンコウの成長
出典：竹谷ら (2017) 日水誌. 83, 9-17.

主な漁業

キアンコウはほぼ周年にわたって県内全域で漁獲される。太平洋、日本海では底びき網、津軽海峡、陸奥湾では刺し網、底建網等での漁獲が多い。冬季及び春季から夏季に多く漁獲されるが、春季から夏季には価格が極端に安くなる。

漁獲の動向と水準

漁獲量は、青森県海面漁業に関する調査結果書では 2005 年から集計されており、それ以前の漁獲データはない。漁獲量は 2009 年まで 900 トン前後で推移していたが、その後は減少した。2016 年に増加に転じ、以降は横ばいが続いている。2025 年の漁獲量は前年より減少して 431 トンであった。

2025 年の漁獲動向は、漁獲量の直近 5 年間の傾きから横ばいと判断した。漁獲水準は、漁獲量の最高値と最低値との間を 3 等分し、上から高位、中位、低位とすると、中位であった。

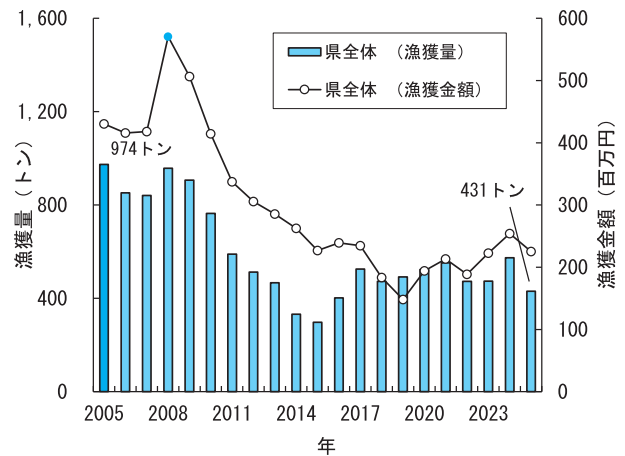


図 青森県におけるキアンコウの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために

- 青森県における自主的資源管理措置等
- ・全漁業種類において、体重 2kg 未満の小型魚の再放流について定めた。
- ☆上記の取組を継続することが必要である。

トピックス

- ・青森県産業技術センター水産総合研究所等は、背鰭第一棘による年齢査定法と外観による性判別法を開発した。今後は、これらの技術を活用した資源量推定技術の確立が期待される。
- ・2021 年 1 月に風間浦村で水揚げされた体重 8.2kg のキアンコウの胃から海鳥のウトウが発見された。また、2025 年 2 月にむつ市脇野沢で水揚げされたキアンコウの胃から海鳥のウミスズメが発見された。(野呂 (2021) 水と漁. 第 36 号、野呂 (2025) 水と漁. 第 48 号)

